

第1回 府中市中心市街地地区都市交通体系調査協議会

議事要旨

1. 日時 : 平成21年2月26日(木)、10:00~12:00
2. 場所 : 府中市文化センター 3階 会議室3
3. 出席者 :
- | | | | |
|------|-----------|--|-----------------------------|
| ○会長 | [学識経験者] | 福山大学 教授 | 井上 矩之 |
| ○副会長 | [府中市] | 副市長 | 石岡 勝朗 |
| ○委員 | [交通事業者代表] | 西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社企画課 課長 | 小谷 浩一 |
| | [関連機関代表] | 府中市中心市街地活性化協議会 会長代行
府中市商工会議所 まちづくり委員会 委員長 | 唐川 浩成
真邊 正男 |
| | [市民代表] | 府中市町内会長連合会 会長 | 栗原 進 |
| | [交通管理者] | 府中警察署交通課 課長 | 井上 秀美 |
| | [国土交通省] | 中国地方整備局建政部 都市・住宅整備課 課長 | 松井 康治
(代理:神田係長) |
| | [広島県] | 広島県都市企画課 事業調整監 | 小田 政之
(代理:河村主査) |
| | [府中市] | 建設部長
総務部長 | 田原 春二
門田 隆
(代理:宮主任主事) |
| | | 市民生活部長
教育部長 | 寺岡 泰弘
本多 進 |
- 事務局 : 府中市まちづくり課 (橘高課長、大元係長、浅野主任技師、檀上主任技師)
- 作業協力 : 復建調査設計株式会社 (竹葉、金沢)
4. 次第 :
- 1) 開会
 - 2) 副市長あいさつ
 - 3) 委員、事務局等の紹介
 - 4) 府中市中心市街地地区都市交通体系調査協議会について
 - 5) 議事
 - (1) 会長、副会長の選任
 - (2) 地区の現況・課題と交通施設整備の方針について
 - (3) 今後の検討の方向性について
 - 6) その他
 - 7) 閉会

5. 議 事

1) 府中市中心市街地地区都市交通体系調査協議会について

事務局 本協議会は、今回提示した「府中市中心市街地地区都市交通体系調査協議会設置要綱」に基づき進めたいが、異議はないか。

委員一同 (異議なし)

事務局 それでは、本協議会は、この「府中市中心市街地地区都市交通体系調査協議会設置要綱」に基づき進めることとする。

2) 会長、副会長の選任

事務局 協議会設置要綱第4条に基づき、会長を選任したい。事務局としては、学識経験者である井上委員を推薦したいがどうか。

委員一同 (異議なし、拍手をもって承認)

事務局 それでは、本協議会の委員長は井上委員にお願いする。続いて、会長の職務を代理する委員を井上会長から指名していただきたい。

会長 石岡委員にお願いしたい。

事務局 井上会長の指名により、会長の職務を代理する委員は石岡委員にお願いすることとするので、了承いただきたい。

委員一同 (拍手をもって承認)

3) 地区の現況・課題と交通施設整備の方針について

① 計画策定に関して

【質問1】 アンケート結果をみても、駅周辺についての問題と、中心市街地へいかに人を引き込むかという問題の2つがあると思う。この度、府中市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けたところであるが、これを活用して駅周辺を整備することも可能なのか。

【回答1】 中心市街地活性化基本計画において、13の事業の1つとして「JR府中駅周辺整備計画策定」が位置づけられている。駅周辺整備の実施に当たっては、国庫補助を活用することになると思う。本協議会で扱う問題としては、駅周辺と中心市街地の2点があると考えている。

【回答2】 調査対象地区が示すように、駅周辺だけではなく中心市街地全体を対象として検討するものと思う。

【意見1】 いかにして中心市街地に人を引き込み、賑わいをつくるかが重要だと思う。駅から恋しき、石州街道出口地区へと、市外の人も含めて誘導できるネットワークが重要だと思う。

【意見2】 中心市街地活性化基本計画で位置づけた13の事業には、駅周辺整備計画策定のほか、朝日上通り線等の街路整備や歩道の整備等が含まれており、現在事業を進めているところであるが、駅南側への歩行者動線、駅南北のアクセ

スが弱いと考えている。

【質問 2】 計画策定後、事業を進めるために国庫補助を受けようとした時、審査によって事業内容が取捨選択されることになるのか。

【回答 3】 国庫補助事業としては色々なメニューがあり、最近はエリア事業も多い。中心市街地では、これまでもエリア事業の 1 つであるまちづくり交付金事業の採択を受け、事業を進めている。駅周辺整備についても、財政と相談の上で、例えば自由通路、駅前広場、アクセス道路等を 1 つの整備計画に位置づけて、事業を進めていくことになると思う。ただし、現段階では事業の実施スケジュールは不透明である。まずは整備計画を策定したい。

【意見 3】 計画を策定しても、実現できないと意味がないと思う。

【意見 4】 これまで駅周辺の鉄道連続立体化の計画もあったが、事業費が膨大であり実現できなかった。今回は、実現可能な計画を策定して事業を進めていきたい。平成 23 年度までに整備計画を策定し、その翌年度から実現可能な事業に着手したい。事業を進めるためには国庫補助が必要と考えており、そのためには平成 23 年度頃に国への申請手続きも必要と考えている。

【意見 5】 計画策定後は、事業化して欲しい。実現可能なところから進めて欲しい。

【意見 6】 実現可能な計画を考えていきたい。

② JR 府中駅周辺整備について

【質問 1】 駅南口や自由通路の整備について、JR の考えはどうか。

【回答 1】 人口減少や自動車利用の増加等の影響で、乗降客数は全般的に減少傾向にあるなか、できるところから改善に取り組んでいるが、全ての駅への対応は難しい。JR としての府中駅に関する具体的な計画はない。自治体や地域住民等と話をし、役割分担の上で進めていくのが JR の方針である。

【質問 2】 駅を高架化して自由通路で連絡するという話は以前からあるが、今回提案したところで実現性はあるのか。

【意見 1】 非現実的なことだと実現は難しいが、できることもあるはずで、その実現可能性を探るものと考えてはどうか。

【意見 2】 実現の可能性があれば、市民としては是非進めて欲しいと思う。

【意見 3】 橋上駅は難しいかもしれないが、別の実現可能な方法もあると思う。

【意見 4】 駅周辺整備に関して、JR 単独の計画はないが地域と連携して検討を進めていければと思う。ただし、駅には様々な施設があり、必要施設を排除して整備するという事は難しい。

【質問 3】 駅南北の連絡については、過去にも計画があり市民要望も多い。できることであれば実現して欲しい。中心市街地活性化基本計画の期間は平成 23 年度までであるが、こういう整備を進めて欲しいと言うだけで終わるのか。

【回答 2】 中心市街地活性化基本計画では、駅周辺整備計画策定を位置づけており、平成 23 年度までに整備計画を策定するという事である。

【意見 5】 JR 単独での整備はないが、自治体や市民との連携があれば可能性はあり、

また国・県と連携して具体論まで踏み込んだ計画となれば、実現可能はより高まると思う。

③ バリアフリーの歩行者・自転車ネットワークについて

【意見1】 課題の1つとして、バリアフリーの歩行者・自転車の通行空間の整備があげられているが、歩車共存道路のことを指すのか。歩車共存道路は、自動車が歩道に入ったり、逆に歩行者が車道に出たり、また歩行者の乱横断も多く、安全ではない。交通管理者としては歩車道分離を進めて欲しい。

【意見2】 現実の問題としての交通安全を考えた上で、工夫が必要だと思う。車いす対応や点字ブロック設置も必要だが、全ての人にとって良いものは難しいと思う。

④ 街路ネットワークについて

【質問】 街路ネットワークの整備として2区間があがっているが、他の未整備区間の扱いはどう考えているのか。未着手都市計画道路の見直しを含めて検討するのか。

【回答】 2区間の1つは朝日上通り線であり、平成17年度からまちづくり交付金により事業を進めている。用地買収の関係で平成20年度には完了しないが、引き続き事業を進め平成22年度完了を目指している。もう1区間は渡り上がり五反田線であるが、この路線はまちづくり交付金の整備計画には位置づけていない。将来的なことについては、今後検討していきたい。

⑤ その他

【意見1】 JR福塩線の高速化が進めば利用者は増えると思う。

【質問1】 JR福塩線は単線のために時間がかかるのか。

【回答1】 単線であることが大きな要因である。駅で上下線のすれ違いを行う必要があり、待ち時間が必要となる。

【意見2】 以前は、駅で列車に乗降する際、跨線橋を渡らなければならなかった。高齢者にとっては辛いので、町内会がJRに相談したところ、跨線橋を渡らずに利用できるようになった。JRが対応してくれたことを住民は喜んでいる。

【質問2】 上下線ともか。

【回答2】 上下線とも1つのホームで列車に乗降できるようになった。

⑥ 会長のまとめ

会長 今回、中心市街地を対象区域として、JR府中駅を中心として賑い・交流の拠点を作ることを目標とし、7つの交通施設整備方針が示されたところであり、今後の検討過程で修正もあると思うが、当面この方針に沿って検討を進めることとしてよいか。

委員一同 (異議なし)

会長 それでは、今回示された方針をもとに、今後検討を進めて欲しい。

4) 今後の検討の方向性について

- 【質問 1】 当面、駅舎は現状のままで自由通路の整備を検討し、その後橋上駅についても検討するということか。
- 【回答 1】 駅舎は既存のままで自由通路を整備する案を基本としたい。ただし、利便性等の面から考えて必要ということになれば、橋上駅についても検討したいと考えている。
- 【意見 1】 自由通路だけの整備案と橋上駅の整備案の2つの代替案があり、その比較になると思う。
- 【質問 2】 例えば駅舎を建て替えるといった場合、JRはどこまで許容できるのか。
- 【回答 2】 例えば、駅舎を建て替える場合、建て替え時期に近い古い施設の更新はJRで対応するが、併せてより高機能なものを整備するとなると単独での対応は難しい。仮に駅舎はそのまま駅南口を整備するとなると、新たに改札口が必要になる。そのような負担は少なくしてほしい。
- 【意見 2】 南口ができると、南口にもJR職員の配置が必要になり経費がかかる。
- 【意見 3】 20年後の将来乗降客数が予測されているが、年齢別の利用状況が考慮されていない。小中高生といった学生の利用が大きなウェイトを占めるが、将来的には少子化が一層進むと考えられるため、JRとしては厳しい見通しを持っている。この数値を何か計画に反映させるのか。それによってはもう少しシビアに見る必要がある。
- 【回答 3】 将来乗降客数の予測をもとに、駅前広場などの施設規模を算定することを考えている。将来乗降客数の算定については再検討したい。
- 【意見 4】 駅南北を自由に行き来できるようすることは、市民の長年の願いである。乗降客の増加は望めないかもしれないが、駅南北を自由に行き来できるようにすることで、賑わいができることは間違いないと思う。予算的な裏付けが取れるのであれば、是非整備を進めて欲しい。
- 【意見 5】 駅南北の移動が便利になれば、JR利用者だけではなく市民が便利になる。
- 【意見 6】 今後の高齢社会に対して、中心市街地の活性化、歩いて生活できるまちづくりを目指している。駅周辺には歩いて行ける範囲に主要な施設があり、市民が駅南北を自由に歩いて行き来できるようにすることを考えたい。現在策定中の地域公共交通総合連携計画においても、市全体の交通体系を検討していくこととしている。高齢社会に対応したまちづくりを目指し、整備を進めていきたい。
- 【意見 7】 交通計画の視点だけではなく、まちづくりの視点も重要である。高齢者の増加を考慮して、高齢者の移動や活動できる場所を検討することも重要だと思う。次回の協議会に向けて、今回の指摘を踏まえて検討を進めて欲しい。

5) その他

事務局

次回の協議会は3月下旬の開催を予定している。次回は具体の整備方針を提示する予定である。次年度は設計に入る予定であるが、何らかの形で委員の意見を聞く場を設けたいと考えているので、その際はまたよろしくお願ひしたい。

以 上

